人物紹介

生没年：1921-1976
ゆかりの地：光市
ジャンル：詩

詩人。戦後から詩を、また詩劇、童話、評論など多彩な作品を発表。山口県の文学活動に大きな影響を与える。

大正10年1月17日、朝鮮仁川（韓国）生まれ。東京帝大文学部美学科中退。学徒出陣でハルマヘラ島に出征、戦争体験が詩作の動機となる。25歳で山口県光市に復員。教職の傍ら、昭和25年に詩誌『駱駝』を創刊、28年間同誌を主宰。昭和39年には詩人和田健らと山口県詩人懇話会を結成し『現代山口県詩選』を発行。詩集『海がわたしをつつむ時』などの著作がある。昭和51年7月27日、光市で死去。55歳。

参考文献

『やまぐちの文学者たち 増補版』
（やまぐち文学回廊構想推進協議会 編集・発行　2013　請求記号：Y910/P 3）

資料紹介

◆作品集など

詩集『海がわたしをつつむ時』

（礒永秀雄 著　鳳鳴出版　1971.5
請求記号：Y911.5/K 1）

50歳を機に刊行した礒永の集大成の詩集。＜正統詩＞を掲げた24年間の詩業がまとめられている。

表題詩は彼の代表作のひとつであり、御手洗湾を臨む光市の室積みたらい公園には、この詩の終わりの部分を刻んだ詩碑が建立されている。

『礒永秀雄選集』

（礒永秀雄 著　礒永秀雄選集編集委員会編著　長周新聞社　1977.10
請求記号：Y911.5/K 7）

礒永の没後に出版された選集。前期、中期、後期の詩篇や訪中詩集『燃える海』（抄）、エッセイ、「八月の審判」等の雑文、小説、童話、年譜などを収録。礒永の作品や活動歴を知ることができる。

『夢の柩（ひつぎ）』

（礒永秀雄 著　潮出版社　1971.6
請求記号：Y/I 85）

童話集。表題作のほか「おんのろ物語」「天狗の火あぶり」「四角い窓と円い窓」など15編を所収。

『礒永秀雄の世界』

（長周新聞社　2000.3　請求記号：Y911.5/N 0）

平成11年12月、下関市で開催された「礒永秀雄の世界展」の構成・内容をもとに長周新聞社が出版した礒永秀雄の選集。礒永の肖像写真や関連写真なども収録。「礒永の詩業略歴」（年譜）あり。

※令和5年3月末現在、礒永には、まとまった形での伝記・研究書などは刊行されていない。

◆研究文献など

詩誌『駱駝（らくだ）』148号　礒永秀雄追悼号

（駱駝詩社　1976.9　請求記号：Y911.5/I 0）

昭和25年に礒永が創刊した『駱駝』は、翌年第1回山口県芸術文化振興奨励賞を受賞。室生犀星（むろうさいせい）賞を受賞した詩人磯村英樹（いそむらひでき）をはじめ、多くの人材を育てたが、礒永の急死により148号で終刊。追悼号では同人たちから見た礒永が語られる。巻末の「駱駝のクロニクル」には『駱駝』の活動記録や県内外の寄稿者たちの名前が掲載。

「いのちに最も近いところで歌う-礒永秀雄の作品と業績」

（磯村英樹 著（『詩学』第26巻10号 p24-32 詩学社 1971.11　請求記号：R911.5/F 8）収録）

親友でもあった磯村英樹による作品論。年譜あり。

◆文学館・史跡など

“福田正義（ふくだまさよし）記念館”（下関市）

https://www.chosyu-journal.jp/fukudakinenkan

記念館の２階に「礒永秀雄の世界」が常設展示。詩誌『駱駝』の他、直筆原稿、蔵書などが展示されている。（※事前予約をお勧めします。）

＜予約等の問い合わせ先＞

長周新聞社　TEL:083-222-9377
山口県下関市田中町10番2号

- このほか、当館ウェブサイトや館内の蔵書検索機の**「なんでも検索」**で「礒永秀雄」と入力して検索すると、関係する資料を幅広く探せます。

ウェブサイトの最終確認日：2023.03.25

■お探しの資料が見あたらないときは、当館職員へお尋ねください。

山口県立山口図書館 総合サービスグループ
TEL：083-924-2114（調査・相談）
FAX：083-932-2817
WEB：https://library.pref.yamaguchi.lg.jp

礒永（いそなが） 秀雄（ひでお）
について調べる

- 礒永秀雄の作品を読んだり、彼について調べたりするための、基本的な資料をご紹介します。
- ここで取り上げた資料は、2階の「山口県文学」の棚や書庫の中にあります。
- この他にも、関係する資料があります。くわしくは、カウンターの職員にお尋ねください。

作成日：2023 年 3 月 31 日